

様式 2

平成 30 年度 墨田区立 竪川中学校 経営計画書

校長名 織部 明広

学 校 目 標	徳育・知（智）育・体育の調和のとれた、人格の形成をめざす
目指す学校像	授業が充実し、生徒と生徒、生徒と教職員の間に信頼関係のある学校 チーム竪中として、クワトロゼロ（いじめ・不登校・校則違反・残業）をめざす
目指す子供像	①心豊かな、美しい感性をもった生徒 ②意欲的に学習する生徒 ③たくましく、何事もやりぬく生徒
目指す教師像	人権意識を高め、生徒や保護者に寄り添い、現実を直視し情熱をもって職務を遂行する教師

項目	取組の視点	取組指標	成果指標
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業の実施等	<ul style="list-style-type: none"> ○授業時数・授業時間の確保 ○「書く」力の定着を図る。 ○漢検・英検・数検の受験を奨励し、資格取得を目指す。 ○墨田区学力向上支援マネジメント推進校の取組(理科) ○補習教室等の充実に努める ○指導教諭の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○標準年間授業時数を各学年 20 時間以上上回る。1 分前始業で 50 分の授業時間を確保する。 ○「書く」達成率 80% ○各検定 3 級以上取得者が 3 年生の 30%以上。3 つの検定 3 級以上合格者 3 年生の 10%以上 ○全学年、理科において、全国平均に到達する。 ○放課後すみだ塾の参加者を毎回 20 名以上 ○指導教諭が実施する研究授業に若手教員を参加させ、報告書を作成、全教員に伝達講習を行う。
	特別な支援を必要とする子供に対しての、組織的な支援等	<ul style="list-style-type: none"> ○校内委員会による個別指導計画を対象となる生徒全員分作成し、実施・評価・改善を行う。 ○支援が必要な生徒についての情報共有を進めるため、ICT 回覧板を活用する。 ○特別支援教育についての研修会を行い、教職員・保護者の理解を深める。 	<ul style="list-style-type: none"> ○校内委員会の週 1 回の実施 ○生徒に関するデータベースを作成し、共有する。 ○校内回覧板をその日のうちに全員が確認 ○全教職員が特別支援教育に関する研修会を受講
	社会的自立に向けた進路指導・キャリア教育・相談活動等	<ul style="list-style-type: none"> ○各学年でキャリア教育の指導計画の作成・実施・評価・改善を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○職業体験については、竪中ハローワークを活用して、求人票や履歴書の作成など、実際の就職活動に準じた指導を行う ○社会人講師の講話を各学年 5 回以上。
	教員の指導力・授業力を高めるための、組織的な取組等	<ul style="list-style-type: none"> ○職員会議後のミニ研修会を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○全教員が年 1 回以上指導教諭等の授業参観や特別支援教育に関する研修会に参加し、その成果を伝達講習する。
生活指導等	問題行動の予防や解決に向けた組織的な取組等	<ul style="list-style-type: none"> ○いじめアンケートを年 6 回実施し、生徒の意識を高めるとともに、保護者への啓発を行う。 ○問題行動が発生した場合、退院や生活指導部任せにせず、全教員で解決を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ○アンケート結果から、必要な聞き取りや指導を行い、聞き取り後の解消 100%。 ○ICT 回覧板を活用し、問題行動の周知徹底を図り、それぞれの役割が果たせるようにする。

様式 2

	基本的な生活・社会習慣、人間関係作りのための心の教育等	<p>○生徒の意識を高めるために、朝礼の校長講話をもとに、道徳を充実させる。</p> <p>○クワトロゼロをめざすために、生徒会組織を友好に活用する。</p> <p>○31年度特別な教科「道徳」の教科化に向けて(主体的学び、対話的学び、深い学び)について各教科への横断的取組</p>	<p>○生徒からの感想や意見を校長が確認するとともに、学年教師がその内容を確認し、必要な指導を行う。</p> <p>○生活アンケートを生徒が実施・集計・分析し、全校に働きかける。</p> <p>○給食の残滓を1%以下にする。</p> <p>○各教科の年間指導計画において、特別な教科「道徳」の関連項目の組み込み、別葉を作成する。</p>
	安全を確保するための取組等	○避難訓練を計画的に実施し、生徒が自分で考えてこうどうできるように指導する。	○避難方法の確認だけでなく、毎回違う場面を想定した訓練を行う。
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等	○アンケートを年度当初に実施し、フィルタリングの設定を徹底する。	○SNSによるトラブルの根絶(前年度1件)
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び評価等	○家庭学習帳の充実させるために全教員で取り組む。 ○学年担任制の充実	○全校で提出率95%以上 ○全員の教師が全校生徒の名前と顔が一致する
	教育環境・設備等の整備状況等	○文科省・東京都・墨田区それぞれの学力調査に関する取組を強化する。	○各調査前に5～10時間程度、対策講座を実施する。達成率前年比5%以上にする。
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを伝える取組等	○学校便り・学年便りの発行、HPの更新を定期的に行う。また、今年度より、地域・町会に学校便りを配布する。	○毎月の学校便り・毎週の学年便りの発行、HPの毎週更新
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動の推進等	○学校支援地域協力会との連携を強化する。	○3年生に、協力会及び町会長等の外部人材による面接指導を実施。参加率100パーセントにする。

※ 表については、必要に応じて2ページ以上にわたるように加工する。